

教育局 近代美術館 佐原、大越、佐藤 直通 048-824-0110

直通 048-824-0110 E-mail: p240111@pref.saitama.lg.jp

く報道発表資料>

カテゴリー:イベント

令和5年2月9日

県立近代美術館 企画展「戸谷成雄 彫刻」を開催

(同時発表:さいたま市記者クラブ)

県立近代美術館では、令和5年2月25日(土曜日)から5月14日(日曜日)までの間、企画展「戸谷成雄 彫刻」を開催します。

戸谷成雄(1947~)は、1970年代から彫刻家としてのキャリアをスタートさせ、戦後の日本美術における彫刻表現を牽引してきました。1988年にはヴェネチア・ビエンナーレに参加し、その後も国内外での発表を重ね、現代日本を代表する彫刻家として、その名を知られています。

本展では、木材の表面をチェーンソーで彫り刻む「森」シリーズなどの代表作を含む約40点によって、戸谷成雄の半世紀にわたる実践を振り返ります。さらに「森」に至るまでの初期の模索にも焦点を当て、初公開となる大学卒業制作の人体彫刻や資料類を合わせて紹介し、戸谷成雄の創作の原点を検証します。

1 展覧会名

戸谷成雄 彫刻

2 会期等

(1) 会期

令和5年2月25日(十曜日)~5月14日(日曜日)

(2) 開館時間

10 時 00 分~17 時 30 分 (展示室への入場は 17 時 00 分まで)

(3) 休館日

月曜日(ただし、5月1日は開館)

3 会場

県立近代美術館 2階展示室

(さいたま市浦和区常盤 9-30-1 電話 048-824-0111)

4 観覧料

- 一般 1,200 円 (960 円) 、大高生 960 円 (770 円)
- ※()は20名以上の団体料金です。
- ※中学生以下及び障害者手帳等を御提示の方(付き添い1名を含む)は無料です。
- ※企画展観覧券(ぐるっとパスを除く)をお持ちの方は、併せて MOMAS (モマス) コレクション (1 階展示室)も観覧できます。

5 主催等

(1) 主催

県立近代美術館、戸谷成雄展実行委員会

(2) 協力

シュウゴアーツ、ケンジタキギャラリー

(3) 広報協力

JR東日本大宮支社、FM NACK5

6 関連イベント

(1) 担当学芸員の作品解説会

日時:令和5年2月26日(日曜日)14時~15時(開場は13時30分)

場所:埼玉県立近代美術館 2 階講堂

定員:60名(申込不要、先着順)

料金:無料

(2) 対談 戸谷成雄(彫刻家)×建畠晢(当館館長)

日時:令和5年3月12日(日曜日)14時~15時30分(開場は13時30分)

場所:埼玉県立近代美術館2階講堂

定員:60名(申込不要、先着順)

料金:無料

7 同時開催の展覧会

(1) MOMAS コレクション第 3 期

会期:令和4年12月3日(土曜日)~令和5年2月26日(日曜日)

会場:1階展示室

(2) MOMAS コレクション第4期

会期:令和5年3月4日(土曜日)~5月7日(日曜日)

会場:1階展示室

※ 展覧会の詳細は、当館ホームページ等を御覧ください。

8 交通案内

JR 京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR 東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。

当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代 美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。

団体バスは事前に御相談ください。お体の不自由な方の御来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので事前に御連絡をお願いします。

9 その他

御来館に当たっては、新型コロナウイルス感染症防止対策に御理解と御協力をお 願いいたします。

状況により、休館及び会期変更の可能性があります。御来館前に当館ホームページで最新情報を御確認ください。

10 お問合せ先

県立近代美術館 佐原、大越、佐藤(電話:048-824-0110)

【参考情報】

県立近代美術館

ホームページ: https://pref. spec. ed. jp/momas/

公式 Twitter: https://twitter.com/momas_kouhou

公式 Facebook: https://www.facebook.com/momaspr

【出品作品例】





左:《男 I 斜面の男》1973年 ©Shigeo Toya Courtesy of ShugoArts

右:《POMPEII··79 Part1》1974/1987年 撮影:山本糾 ©Shigeo Toya Courtesy of ShugoArts





左:《地下の部屋》1984年 撮影:山本糾 ©Shigeo Toya Courtesy of ShugoArts

右:《森IX》2008 年 ベルナール・ビュフェ美術館蔵 撮影:山本糾

画像提供:武蔵野美術大学 美術館・図書館





左:《洞穴体V》2011年 撮影:山本糾 画像提供:武蔵野美術大学 美術館・図書館

右:《視線体—連》2020年 撮影:怡土鉄夫 ©Shigeo Toya Courtesy of KENJI TAKI GALLERY